

令和6年度 教育目標及び指導の方針と重点

学校経営

教育目標

知・徳・体の調和のとれた将来有為な人材の育成

方針

<めざす学校像>

地域に信頼される学校

重点

1 学校運営の重点

- (1) 全職員の共通理解の下、是々非々のブレない指導を徹底するとともに、生徒の個性や努力を認めて伸ばし、自己肯定感を育てながらその成長を促す。
- (2) さまざまな教育活動において、生徒に1つ上を目指して「背伸び」をさせる指導を心がける。
- (3) 多様な価値観や個性、文化を認め合いながら自分も他者も大切にできる、人間性豊かな生徒を育てる。
- (4) 生徒や保護者、地域において信頼され、安全・安心な学校づくりを推進する。
- (5) 関係機関との連携や外部人材等の積極的活用を通じて、地域に開かれた学校を目指す。
- (6) 業務の精選を進めるとともに、高い同僚性に裏付けられた職員集団の形成を目指す。

2 学習指導・進路指導等の重点

- (1) 生徒が意欲的に取り組める授業を推進する
 - ア ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかる授業」の展開
 - イ 可視化や加点法を取り入れた評価による、意欲を喚起する学習活動の推進
 - ウ ICT機器等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の展開
 - エ 新学習指導要領に基づく評価の在り方の研究
- (2) コミュニケーション能力を育成する
 - ア 演劇表現ワークショップやキャリア教育プログラムで身に付けたスキルの活用
 - イ 高等学校における通級による指導の汎用
- (3) キャリア教育を推進する
 - ア 各学年の進路課題に応じ、自己の在り方生き方を含めた勤労観・職業観の育成
 - イ 多様な進路希望に対応するためのガイダンスと個別相談の充実
- (4) 進路目標の実現と卒業後を見据えた学力の定着を図る
 - ア 授業を基本とするとともに朝トレ等を活用した基礎学力の定着
 - イ 補習や外部模試等を活用した「伸ばしこぼし」のない学習機会の提供
 - ウ 多様な進路希望に応じた特色ある8類型の充実
- (5) 外国につながる生徒等への支援の充実を図る
 - ア 入学から卒業後の進路を見通した組織的指導の展開
 - イ 国際クラス、学校設定教科「日本語」等における指導の充実
 - ウ 自身の語学力等の強みを生かした活躍の場づくりと地域との連携推進

3 生徒指導・教育相談・特別活動の重点

- (1) 社会で通用し、地域に信頼される人間を育成する
 - ア 基本的生活習慣の確立や規範意識、道徳性、人権感覚等の涵養を図るための全職員による共通理解、同一指導の徹底
 - イ いじめの未然防止や情報モラルの定着に向けた指導の充実
 - ウ 卒業後、その一員として社会への参画に向けた自覚や態度の育成
- (2) 生徒一人ひとりを大切にす支援を行う
 - ア 生徒一人ひとりの支援のための教育相談体制の充実と職員間の情報共有
- (3) 自己有用感と思いやりの心を育成する
 - ア 自身の個性に気づき伸ばす力の育成と、他者を認め共生する精神の醸成
 - イ 生徒会活動や部活動、ボランティア活動等の推進による自己有用感や思いやりの心の育成